

漢文入門

『愚管抄』を読む

―武家政権の歴史：保元の乱から承久の乱まで―

知るよろこび、
学ぶたのしみ、
心にのこるとき。

4月 懐 開講

令和4年度 懐徳堂
古典講座
2月より受付開始
受講生募集

『日本書紀』継体紀を読む

続『平家物語』の名場面を能で読む

―源平の武将と女たち―

全コース オンライン開催

※Zoomを使用します。
※講座内容は録画し、後日、記念会のクラウド上にて期間限定で公開します。
古典講座を申込みされた会員のみ視聴できます。

申込・受講料について

ホームページにて日程をご確認いただけます。 URL http://www.let.osaka-u.ac.jp/kaitokudo/

	受講料（会員）	
1コースにつき	¥12,000	別途年度会費（右記参照）必要

備考：受講料は半期単位での分割納入（6,000円）が可能です。
懐徳堂記念会へご入会いただくことが受講の必須条件となります。

ご入会について

受講希望で非会員の方は、この機会に是非ご入会の上、会員特典をご利用ください。
下記のURLからご入会手続きも同時に行うことができます。
年度会費［一般・賛助］3,000円・10,000円

特典1. 年3回（4・9・2月）会報『記念会だより』お届け
特典2. 年1回（2月）雑誌『懐徳』お届け
特典3. 各種講座・講演会に割引または無料にて優先的に参加できます。

※原則開講月：（前期）4～7月 ／ （後期）9～12月　受講料納入確認後、領収書兼受講票をお送りいたします。

スマートフォンからもお申込みが可能です。

令和4年度懐徳堂古典講座 お申込み用フォームURL https://ws.formzu.net/dist/S23149095/

お問合せ 土・日・祝日は閉室しております。
（財）懐徳堂記念会事務局 〒560-8532 豊中市待兼山町1-5（大阪大学文学部内）
TEL(06)6843-4830　E-mail kaitok_j@let.osaka-u.ac.jp

◆主催／（財）懐徳堂記念会　◆共催／大阪大学大学院文学研究科

令和4年度 懐徳堂古典講座 ―全4コース― 各コースと要旨

Aコース　時間 10:30~12:00（原則第1日曜日）

続『平家物語』の名場面を能で読む ―源平の武将と女たち―

講師：中尾　薫 先生（大阪大学准教授）

『平家物語』に取材した能（謡曲）の作品を、物語の展開に添って読んでいく講座の第2弾です。昨年は、主に平家の栄華のもとに翻弄された人々を描いた作品を読んでいきました。今回は、能《実盛》《巴》《兼平》《経政》《忠度》《敦盛》《清経》《通盛》といった、平家打倒のために立ち上がった源氏の武将や、世の無常を感じながら戦死していった平家の武将たちの思いを描いた作品を扱います。基本的には1回で読み切りますので、初めての方でもお楽しみいただけると思います。美しい古文によって紡がれる能の世界をじっくり味わいながら読んでいきます。

Bコース　時間 13:30~15:00（原則第2土曜日）

漢文入門

講師：清水　洋子 先生（福山大学准教授）、竹田　健二 先生（島根大学教授）、藤居　岳人 先生（阿南工業高等専門学校教授）、浅見　洋二 先生（大阪大学教授）によるリレー形式。

中国の代表的な古典の中から、思想、歴史、文学に関わる名著を選んで、そのエッセンスを読みます。4月·5月は、乱世の中で生まれた『孫子』と『戦国策』。混迷する社会の中での智慧を学びます。6月·7月は、儒家の『孟子』と『荀子』を中心にして、人間の本性の問題を探ります。9月·10月は、『老子』『列子』『荘子』などに目を転じ、そこに描かれた孔子像というユニークな観点から道家系文献を読みます。11月·12月は、蘇軾と陸游を中心にして唐宋の詩を読みます。「漢文入門」講座で、漢文の読み方を初歩から手ほどきします。お気軽に参加してください。

前期 4月～7月	4月·5月	「乱世に学ぶ智慧 ―『孫子』と『戦国策』―」 清水洋子先生
	6月·7月	「人間の本性とは ―『孟子』と『荀子』―」 竹田健二先生
後期 9月～12月	9月·10月	「道家から見た孔子 ―『老子』『列子』『荘子』―」 藤居岳人先生
	11月·12月	「唐宋の詩 ―蘇軾·陸游を基点として―」 浅見洋二先生

Cコース　時間 18:00~19:30（原則第3金曜日）

『日本書紀』継体紀を読む

講師：若井　敏明 先生（関西大学等非常勤講師）、上田　直弥 先生（大阪大学埋蔵文化財調査室助教）、市　大樹 先生（大阪大学教授）、高橋　照彦 先生（大阪大学教授）によるリレー形式。

『日本書紀』を文献史学·考古学それぞれの立場から読み解く講座です。前回の仁徳紀に続き、今回は継体紀を読んでいきます。継体天皇は、応神天皇の5世孫であり、越前あるいは近江に基盤があったと伝承されています。なぜ、このような人物が即位できたのか、4·5月はこの問題に迫ってみたいと思います。6·7月は朝鮮半島の動向に着目しながら、東アジアのなかの継体朝の位置づけを考えてみます。9·10月は九州の動向に着目しながら、日本史上の継体朝の意味を考えてみます。11·12月は継体朝の終焉とその後の展望について迫ってみます。これらの問題を文献史学·考古学双方の視点から検討することによって、日本古代国家成立の謎に挑んでみようと思います。

前期 4月～7月	4月	「継体天皇の即位事情」	若井敏明先生
	5月	「今城塚古墳出現までの道のり」	上田直弥先生
	6月	「継体朝の外交政策を探る」	市大樹先生
	7月	「武寧王陵と朝鮮半島の前方後円墳」	高橋照彦先生
後期 9月～12月	9月	「磐井の乱とその影響」	市大樹先生
	10月	「畿内と九州の古墳文化」	上田直弥先生
	11月	「継体陵·今城塚古墳とその関連古墳」	高橋照彦先生
	12月	「継体天皇の死とその後」	若井敏明先生

Dコース　時間 13:30~15:00（原則第4月曜日 ※12月のみ第3月曜日）

『愚管抄』を読む ― 武家政権の歴史：保元の乱から承久の乱まで ―

講師：川合　康 先生（大阪大学教授）

本講座は、摂関家出身の天台僧慈円が書いた歴史書『愚管抄』を読みながら、慈円が生きた平安末期から鎌倉前期にかけての武家政権の歴史を、他の一次史料を参照しつつ検討しようとするものです。慈円は同時代人として保元の乱から承久の乱までの戦乱の時代を生きており、『愚管抄』は時として史実をそのまま書いているかのように理解されますが、この歴史書は承久の乱前後に過去を振り返って執筆したもので、ところどころに虚構を交えています。そして、慈円の語る「歴史」は、『平家物語』の形成にも大きな影響を与えました。本講座は、『愚管抄』を読みながら、武家政権が貴族社会にどのように認識され、「歴史」として語られたのかを考えます。

開催方法　**Zoomを用いたオンライン開催（事前登録·完全予約制）**
※講座内容は録画し、後日、記念会のクラウド上にて期間限定で公開します。
古典講座を申込みされた会員のみ視聴できます。

申込方法　メールフォームからの事前登録制とします。以下のURLか、QRコードよりお申込みください。
電話やメール、ハガキ、ファックスでの受付は行っておりません。

申込先URL　https://ws.formzu.net/dist/S23149095/
※記念会ホームページからもお申込みが可能です。
スマートフォンからもお申込みが可能です▶

諸注意
- パソコン·スマートフォン·タブレットのいずれかと、インターネット環境が必要です。スマートフォン·タブレットでご視聴予定の方は、事前にZoomのアプリ（無料）をインストールしてください。
- Zoomの講座視聴以外の使い方、開講当日の機材トラブル等の問合せについて、記念会事務局では対応しておりません。
- 大阪大学は懐徳堂記念会とは別組織となり、この件に関知しておりません。お問合せはご遠慮ください。

■ 注記　·日程は原則曜日です。詳細につきましては、記念会ホームページにてご確認ください。
·令和4年1月現在での日程·講師でご案内しております。都合により、講座内容、日時が変更になることがありますので、ご了承ください。

（財）懐徳堂記念会賛助法人（50音順）＜令和4年1月現在＞

あいおいニッセイ同和損害保険(株)
(株)あおい
(株)朝日新聞社
朝日放送テレビ(株)
(株)石原時計店
(株)イトーキ
稲畑産業(株)
栄光ホールディングス(株)
(株)エイチ·アイ·エス
SMBC日興証券(株)
国立大学法人大阪大学
大阪大学出版
認定NPO法人大阪府北部コミュニティカレッジ
(株)大林組
(株)カネカ
(宗)革嶋春日神社
(株)関西みらい銀行
近鉄グループホールディングス(株)
(株)近鉄百貨店
(株)きんでん
(株)ケーエスアイ
(株)鴻池組
コクヨ(株)
三機工業(株)
サントリーホールディングス(株)
(株)自然総研
住友化学(株)
住友商事(株)
住友生命保険(相)
(株)住友倉庫
住友電気工業(株)
浄土宗 誓願寺
(学)清風学園
ダイキン工業(株)
(株)ダイセル
(株)竹中工務店
辰野(株)
東洋紡(株)
凸版印刷(株)
長瀬産業(株)
中西金属工業(株)
日本製鉄(株)
日本電気(株)
日本板硝子(株)
日本生命保険(相)
(株)日本総合研究所
ハウス食品グループ本社(株)
パナソニック(株)
阪急電鉄(株)
(株)ヒガシトゥエンティワン
ヒガシマル醤油(株)
(株)福永懐徳堂
丸一鋼管(株)
三井住友カード(株)
三井住友海上火災保険(株)
(株)三井住友銀行
三井住友信託銀行(株)
三井住友ファイナンス&リース(株)
(株)三菱UFJ銀行
(株)遊文舎
(株)読売新聞大阪本社
(株)りそな銀行
レンゴー(株)
(株)ロイヤルホテル
ほか、4社